

ポプラ・チェンバロ
ボランティア・コンサート
実施記録

チェンバロボランティア

石川 恵子

第二、第四水曜日 午後3時半～4時

2009年（平成21年）7月～
2015年（平成27年）3月迄



北海道大学総合博物館 1階

「知の交流コーナー」

「ボランティア・コンサート実施記録」について

2008年10月8日に、北大総合博物館のチェンバロボランティアに登録させていただきました。

2009年7月より、当時の担当教官の小俣先生から指定された毎月第二、第四水曜日の15:30~16:00にボランティア活動をさせて頂いて5年8カ月になります。

その間、毎回来館者にポプラチェンバロの由来、楽器説明など対応させて頂き、バッハの曲など数曲を聴いて頂きましたが、来館者の皆様には来て良かったと喜んで頂きました。

台風で倒れたポプラから美しい音のチェンバロに蘇ったということに、皆様感動されます。

来館者は日本各地からのみならず、外国からの学者、研究者、留学生のほか観光客も増えています。

四季折々美しいキャンパスの中で、素晴らしい楽器の紹介をさせて頂き、人の心に響く美しい音を聴いて頂き、喜んで頂けたことは、ボランティアとして大変遣り甲斐もあり、有難いことでした。

名器を製作して下さった横田誠三氏には、いつも感謝と尊敬の念で弾かせて頂いています。

楽器製作の企画に関わった方々、歴代の担当教官の小俣先生、天野先生、阿部先生、大原先生、山本先生はじめ、博物館の湯浅先生、スタッフの皆様にお世話になりましたこととお礼申し上げます。

また、演奏では、ソロ以外に共演で、香田亜以さん（ヴァイオリン）、瀬川信彦さん（チェロ）、大宮司幸枝さん（sop.）、長竹新さん（バリトンとリコーダー）、浜田宏之さん（チェロ）他の方々にご協力頂き、バッハの曲や日本の曲等、様々なアンサンブルも聴いて頂くことが出来ました。有難うございました。

また、冬の凍る道や悪天候にも拘らず、毎回楽しみに来て下さる方々も増えて、有難いことでした。博物館が4月から来年2016年夏期まで休館となり、ボランティア・コンサートが中止となりましたことをとても残念に思ってお下り、リニューアル・オープンを待ち望んでいて下さる方も多くいらっしゃいます。ボランティア・コンサートで国内や様々な国の方々との一期一会もあり、多くの方々との出会いと交流が生まれ、私にとってもかけがえのない思い出となり、糧となりましたことを感謝致します。

この活動報告は、小俣先生からのご指示で、ボランティア活動の内容確認のためということで毎回提出していました。先生には「活動の様子がよく分かる。」と仰って頂き、お忙しい中でも気に掛けて下さり有難いことでした。天野先生に担当が変わられた時に、今までの活動報告を資料として本棚に置くようにのご指示で、その後も毎回メモ程度ですが、記録を残してきました。

この度3月25日のファイナルコンサートで、計133回になりました。同じく25日（水）の年度末運営委員会で、ご出席の担当教員、チェンバロボランティアの皆様のご賛同、承認を得ましたので、本棚に他の資料と共に置かせて頂きます。併せて大原先生のお勧めで、ホームページにも掲載して頂けることになりました。この機会に及び、天野先生とのお約束を果たすことが出来ました。

今後の活動に、少しでも参考にして頂ければ有難く思います。休館中は、楽器の設置場所が情報教育館に変わりますので、活動内容もメンテナンス中心になると思われ、定期的なコンサートは暫くお休みになります。来年2016年7月予定のリニューアル・オープンを楽しみに待ちたいと思います。

2015年4月5日

チェンバロボランティア 石川恵子

道新ぶんぶんクラブ

学ぶ 楽

イベントのご案内

教養講座

「ポプラチェンバロに親しむ」9月5日、北大博物館講座

2009/08/09

北大総合博物館と共催の教養講座「エルムの杜の宝もの」第4回を9月5日(土)午後2時から、札幌の同博物館(北区北10西8)で開きます。

「ポプラチェンバロに親しむ」と題し、小俣友輝・助教(博物館情報科学)が鍵盤楽器の一種、チェンバロがなぜポプラで作られ、なぜ北大に持ち込まれたのかを話し、演奏会を開催します。定員は60人で無料です。



チェンバロは17世紀から18世紀にかけ、ドイツやイタリアなどで広まったバロック音楽で用いられました。当時の材料はポプラ、現代はカツラなどが使われています。

同博物館では毎週木曜日、市民ボランティアらが奏でる「チェンバロの小さな演奏会」を開いており、今回の講座でも小俣さんと市民ボランティア数人がヘンデルやパラディスらの約10曲を演奏。小俣さんが北大のチェンバロに関する興味深い話を披露します。触って弾くこともできます。

その後、博物館内を自由に見学し、午後3時30分に終了予定。

(写真: 北大総合博物館内でチェンバロを演奏する小俣さん)

イベントレポート

教養講座

チェンバロ演奏、深い音色に感動 北大博物館講座

2009/09/05

道新ぶんぶんクラブ、北大総合博物館と共催の教養講座「エルムの杜(もり)の宝もの」が札幌市内の同博物館で開かれ、札幌や釧路などのぶんぶんクラブ会員60人が鍵盤楽器の一種、チェンバロ演奏を楽しみました。

このチェンバロは5年前の台風で倒れた北大の名所・ポプラ並木の木材から作られました。講座は、ふだんは講義や施設見学が中心ですが、今回はチェンバロ誕生の経緯を知ってもらおうと初めて演奏会を催しました。



5日開かれた演奏会では北大の小俣友輝・助教と市民ボランティアの新妻美紀さん、石川恵子さんがチェンバロを、福士江里さんがフルートを、香田亜以さんがバイオリンを担当し、バッハやヘンデルの曲を奏でました。また、寺西辰郎さんと西川笙子さんが会場整理などを担当しました。

北大の「ポプラチェンバロ」を見たかったという北区の山本孝子さん(67)は「深い音色に感動しました」と話していました。

(写真: 会員の前でチェンバロとフルートの音色を響かせる市民ボランティアの演奏者)

ポプラ・チエンバロ ボランティアコンサート 実施記録

(2009年、2010年分)

石川恵子担当分 (括弧内は共演者)

第2、4水曜日 15時30分～16時

北大総合博物館 1F「知の交流コーナー」

2009年

7月15日

7月22日

7月29日

8月5日

8月26日

9月5日

9月9日

9月17日

9月30日

10月14日

10月28日

11月9日

11月25日

12月9日

12月16日

道新ぶんぶんクラブコンサート出演

(大宮司幸枝、香田亜以)

水永牧子氏公開レッスン・調律指導受講

(大宮司幸枝)



2009. 8. 5



瀬川信彦 2010. 1. 13

2010年

1月13日

1月27日

2月10日

2月24日

3月10日

3月24日

4月14日

4月28日

5月12日

5月17日

5月26日

6月9日

6月23日

中央・水永牧子氏、右後小保先生 9.17
(瀬川信彦) 多摩左所、谷川氏、新井氏、水永氏、斎藤氏、石川

(瀬川信彦)

Sup. Vil.
(大宮司幸枝、香田亜以)

(大宮司幸枝)

(大宮司幸枝、斎藤亮介、香田亜以)

(大宮司幸枝)(瀬川信彦)

(大宮司幸枝)

横田誠三氏メンテナンス受講

(大宮司幸枝)



ソプラノ 大宮司幸枝氏 2.24
ヴァイオリン 香田亜以氏



美術館へ対応 3.24

2009年7月（初回）～12月迄のコンサート・実施記録メモ

- 7月15日・・初めてのコンサート、福島や東京など観光客が多く、良い思い出になったと喜ばれる。
楽器の由来や構造を説明、バッハ、クープラン、リュリの曲を8曲演奏する。15名。
- 7月22日・・グラフィックデザイナーの方が、大変感動されてブログに載せるとのこと。学生が以前からチェンバロに興味があり、ボランティア活動についても考えたいとのこと。11名。
- 7月29日・・千葉から道内旅行中に、46年前に修学旅行で見たポプラ並木に再会目的で北大に来られ、台風によるポプラの倒木から蘇ったチェンバロの音色に大変感慨深い様子でした。千葉からの他の女性は、友人にチェンバロ製作者と演奏家のご夫婦がいるとのこと。8名。
- 8月5日・・小学生の女子が、バッハの「メヌエット」を弾く。初めてのチェンバロはピアノと違って上手に弾けないけど、また来たいとのこと。チェンバロは、案外子供にも合っていると思う。チェンバロ曲をチェンバロで弾く貴重な経験をこれからはしてほしいと思う。17名。
- 8月26日・・コンサート前に、チェンバロ展示に関するビデオを受付の方にセットしてもらい、来館者に見て頂いてから、実際に楽器に触れたり音を聴いて頂きました。チェンバロは初めてという函館の方他、8名の方が倒木の有効利用ということで感動しておられました。
- 9月9日・・東京からの旅行者、家族連れ、お友達を誘って来て下さった方々などに、楽器説明。今日はソロの他、香田亜以さん（ヴァイオリン）と大宮司幸枝さん（ソプラノ）との共演で、19名の方々にバッハのプレリュードやコラールなどを聴いて頂きました。
- 9月30日・・千葉から修学旅行の高校生団体多数、埼玉や熊本からの方々、大変興味を持たれ、予想外の出会いと喜ばれる。高校女子生徒は、チェンバロを習い始めたということで、今度は家族で来られるとのこと。ソロの他、大宮司幸枝さんとバッハのコラール他を共演。13名。
- 10月14日・・大学生男女4人、シンセサイザーやギターを弾くという中年男性2人他、ご婦人2人連れ、大学院留学生（ロシア）のエレーナさんも度々来て下さって、皆様大変興味をもって説明や演奏を聴いて下さいます。バッハを聴くと有難い気分になると言われる方も。11名。
- 10月28日・・銀杏並木が例年より早く色づき、散歩がてらの来館者が多い様子。ご夫婦と小さいお子さん3人のご家族、長女のるいちゃんと「ちょうちょう」を連弾、楽しかったと喜ばれる。50年前に農学部卒業の方が時々来館し、やっとチェンバロの音が聞けたとのこと。20名。
- 11月9日・・月曜日で練習日でしたが、ポーランドから女性3名の学者と通訳2名が来館、楽器の説明や演奏も聴いて頂き、ポーランド語で挨拶をして予想以上に喜ばれました。
- 11月25日・・特別展やサスティナヴィリティのイベントがほぼ終了、紅葉の見頃も過ぎ、寒くなったせいか来館者は少なかったが、ドイツ人のハロルドさんに「チェンバロは見るのも聴くのも初めてだが、とても上手だ。」と褒めて頂く。ドイツ語でお話し出来て嬉しい。6名。
- 12月9日・・関東から転勤で札幌へ来たばかりという母と子（6歳男児）、ピアノを習っているとのこと。で、「ちょうちょう」「チューリップ」等を連弾して喜ばれ、又来るとのこと。
閉館が4時なので、「他はご覧になりましたか？」とお声を掛けるようにしている。7名。
- 12月16日・・工学部の学生6名、ポプラチェンバロの存在を初めて知ったとのこと、大変興味深く説明や演奏を聴いて触って、また来たいとのこと。他に、やっと音が聞けたという母子。

演奏曲目・・バッハ「アリア」「プレリュード」「コラール」、リュリ「クーラント」「やさしい歌」他

2010 年 コンサート活動実施記録・メモ

- 1 月 13 日・・・八戸から出張中の来館者がチェンバロは初めてということで大変興味を示されまた来たいと喜ばれる。今日からソロの他、チェロ担当の瀬川信彦さん(農 3)との共演で日本歌曲「しかられて」「秋くさ」やカザルス「鳥の歌」等演奏する。
- 1 月 27 日・・・来館の度にチェンバロの音を聞きたいと思っていまして、受付に訊いて楽しみに来て下さった方、リハビリで散歩中の共に北区の方などに熱心に聴いて頂きました。ソロの他、チェロの瀬川さんと「鳥の歌」「浜辺の歌」等 5 曲演奏。院生のエレーナさんも研究の合間に聴きにに来て下さり、有難いことと思う。
- 2 月 10 日・・・「前回、チェロとの「浜辺の歌」が特に良かったので又聴きたくて来ました。」と雪道を 40 分掛けて再訪して下さい、有難く思います。これからも良い演奏を心掛けます。フィリッピンから 3 名ほか 6 名の方に聴いて頂きました。
- 2 月 24 日・・・翌 25 日が入試の為、構内は下見の受験生等が多く見られ、そのためか来館者も多数出入り、チェンバロにも興味を示し最後まで聴いて下さる。ソロの他、ヴァイオリンの香田亜以さん(工 2)、ソプラノの大宮司幸枝さんと共演でバッハ「コラール」他を演奏。15 名程。
- 3 月 10 日・・・北大生(医学部、理学部)、寮生もいらして、寮のグランドピアノを弾いているとのことで、何曲か弾いてチェンバロに興味を持たれたようでした。
バッハの「コラール」、ペルゴレージの「私はシダになりたい」、中田喜直の「むこうむこう」を大宮司幸枝さんと共演しました。
- 3 月 24 日・・・明日 25 日が卒業式のためか、入場者多数。早稲田大学の青山先生より、北大オーケストラについて質問される。ポーランドの方は、教会のオルガン奏者で、ヴァイオリンの香田亜以さんとシューベルトの「アベマリア」を演奏して下さいました。千葉からのご一家の、中¹の女子と連弾をしました。
ロシアからの留学院生エレーナさんがお友達といらして下さいました。
齋藤亮介さんが卒業就職で上京前にと、バード、デュフリを演奏。他、大宮司幸枝さんと共演、ソロでバッハの「コラール」等(写真 1 頁、2 頁参照)
- 4 月 14 日・・・時期外れの寒い強風の日で、来館者は少なかったのですが、東区からいらしたご夫妻がチェンバロが大好きとのことで、バッハの「アリア」に涙して下さい、改めてチェンバロの音色とバッハの曲の素晴らしさを痛感しました。

コンサートでの演奏曲目

バッハ・・・「コラール」、「アリア」、「プレリュード」他

日本歌曲・・・「浜辺の歌」、「叱られて」、「さくらさくら」「秋くさ」他

カザルス・・・「鳥の歌」 リュリ・・・「やさしい歌」、「クーラント」

共演者・・・大宮司幸枝(s o p.)、瀬川信彦(チェロ) 香田亜以(ヴァイオリン)、
長竹新(バリトン・リコーダー)、齋藤亮介(チェンバロ)

7月14日 (大宮司幸枝)
 7月28日 (大宮司幸枝)
 8月11日 (大宮司幸枝)
 8月25日
 9月8日 (大宮司幸枝、^{リゾナ}長竹 ^{あした}新)
 9月22日 (大宮司幸枝、^{そら}瀬川信彦、長竹 新)
 10月13日 (大宮司幸枝)
 10月27日
 11月10日
 11月24日
 12月10日
 12月24日

演奏曲目・例

J. S. Bach アリア
 ユーエル集
 プレリュード
 フランス・イタリアの古い歌
 日本歌
 さくらさくら
 涙迎うた
 しられて
 秋くさ
 むらむら
 カザルス 「鳥歌」 他



斎藤亮介さん

3.24



Sop. 大宮司幸枝さん

3.24



ボラド入来館者と香田さん
グノー「アベ・マリア」

3.24



朗読指導 (村上さん 瀬川さん)

4.12



ボラド風景

4.14



横田先生 マチアス
誠三さん

5.17



Sop. 大宮司幸枝さん

7.14



大宮司さんと

9.8



東京からの観客さんへ対応

9.8

ポプラ・チェンバロ ボランティアコンサート 実施記録

石川恵子 担当分 (括弧内は共演者)
第2, 4水曜日 15時30分～16時
北大総合博物館 1階「知の交流コーナー」

2011 年

1月26日

2月9日

2月23日

3月9日

3月23日

1月12日

4月13日 .. 草嶋さん、河原さんの取材を受ける。

4月27日

5月11日

5月25日

6月8日

6月22日

7月13日

7月27日 .. (清水聡子=チェンバロ)

8月10日 .. (浜田宏之=チェロ) (長竹新=バリトン)共演

8月24日

演奏曲目例 = チェンバロ・ソロ

ゴールドベルク変奏曲 (J.S.BACH) より

「アリア」と変奏曲

コラール変奏曲

フーガ、プレリュード他

演奏曲目例 = チェロ・チェンバロ

「鳥の歌」(カザルス)

ノクターン (フォーレ), シタリアーナ (フォーレ)

コラール (バッハ)

オンブラ・マイフウ (ヘンデル) = バリトン・チェンバロ
他



鈴木 卓名誉教授 ヘルダ賞受賞
メダル展示 2/4 ~ 6/21



「ラビッドワラ展」 7/2 ~ 10/2
1F「知の交流コーナー」



ボランティアコンサート・清水聡子共演 7/27



ボランティア活動
東京・群馬から来館者に対応 8/10



来館者の小学生に対応 7/27

【活動日・活動時間】: 閉館時間後、毎週月曜日(日中)

【活動内容】

閉館中の練習、繊細なチェンバロの調整(弦の張り・交換、ツメの差し替えなど)などのメンテナンスの他、来館者のため第2、第4水曜日の15時30分～16時と、毎週木曜日の14時30分～16時まで、チェンバロの演奏を行っています。

【ボランティアの方からコメント】

・ 第2、第4水曜日の活動を担当しています。チェンバロの音を聞きたいという方が多くいらっしゃいます。2時間程待つと、聴き終わって涙を流す方もいます。



活動風景

<http://www.museum.hokudai.ac.jp/lifelongeducation/article/14/>

2011/09/14

以上は、4月13日のボランティアコンサートの際に草嶋さんと河原さんの取材を受け、その1部が北大博物館のホームページに掲載された原文と写真です。(左)

展示コーナーとして共用の場であるという条件の下でのコンサートという配慮をしながら、来館者にはチェンバロの由来や構造の説明、演奏を聴いて頂きいつも喜ばれますので、楽しくボランティアをさせて頂いています。

ポプラチエンバロ・ボランティアコンサート

石川恵子担当分

第2・4水曜日 15時30分～16時

北大博物館1階 知の交流コーナー

2011年 (4ページより続く)

9月14日 「ラピドプテラ展」開催中で、来館者多数

9月28日 「ラピドプテラ展」に合わせて、「蝶々」の曲(シューマン・ゲール等)も演奏する。前回に続き、ボランティアの展示スタッフ、村上龍子さんが来館者の勧誘、対応等して下さりお世話になりました。

10月26日

11月9日

12月14日



長竹新さん(ハルト)と共演

9/10



淡田松之さん(4歳)と共演

9/10



「ラピドプテラ展」で「蝶々」を演奏 9/28



来館者に対応

9/28



コンサート風景「ラピドプテラ展」 9/28

ポプラチエンバロ・ボランティアコンサート 実施記録

石川恵子担当分（括弧内は共演者）

第2・4水曜日 15時30分～16時

北大総合博物館1階 知の交流コーナー

2012年

1月11日 新春ミニコンサート

出演・新林俊哉（バロックフルート・リコーダー）

清水聡子（チェンバロ）

曲目・J・S・Bach「フランス組曲」

C・Ph・E・BACH

「フルートとオブリガートチェンバロのための
ソナタ ト長調Wq・86」他

1月25日 J・S・BACH「ゴルトベルク変奏曲」より

「アリア」と第一番～第十六番変奏曲を演奏。

2月8日 横浜や仙台から旅行中の来館者を含む10名程に対応。

2月22日

3月14日 （長竹新・バリトン・リコーダー）

「アベ・マリア」（バッハ・・・グノー）

「オンブラ・マイ・フウ」（ヘンデル）他

藤女子中学生のグループや岡崎市からの旅行者の方々が
楽器説明や演奏を熱心に聴いて下さり、喜ばれました。

3月28日 春休みで、普段来られない北大生が、個人やグループで
博物館を訪れて熱心に聴いてくれました。意外にも
音を聴くのは初めてという方が多いようです。

4月11日 前回来て下さった方が、絵のお仲間を誘って4人連れて
来て下さり、大変喜ばれ有難いことと思います。他に、
ポーランドから可愛い双子の高校生が旅行中に立ち寄って
熱心に聴いたり、弾いたりしてくれました。

今後も、一期一会を大切にしたいと思っています。

4月25日 pm. 1時～新妻さんとバックa2とフロントd2の弦の
交換をしました。その後、定時にコンサートをしました。
キャンパスの桜も咲き、季節感も取り入れ「さくら、さくら」
を弾きながら歌い、喜ばれました。

5月9日 気候が良くなり、散歩がてら寄って下さる方が増えています。

（7ページに つづく）



新春ミニコンサート 1月11日
清水聡子さん(チェンバロ)
新林俊哉さん(バロックフルート)



長竹新さん(バリトン) 3月14日



ボランティア風景 3月14日
藤女子中学生の来訪



アラスカ大学留学生多数来館
5月23日

J. S. BACH のコラール、プレリュード、アリア等を聞いて頂きました。

コンサート後に、浜田さんと長竹さんが練習に来てくれました。

5月23日 アラスカ大学の留学生が多数、来館。ソロの他、浜田さんのチェロとの演奏を交え、楽器説明や演奏を熱心に聴いて下さり、国際色豊かなコンサートになりました。「さくら、さくら」、「鳥の歌」(カザルス)、「シチリエンヌ」(フオーレ)等を聴いて頂きました。

6月13日 道南の知内小学校の生徒さん達と引率の先生の他、神戸からの旅行者の方々に大変興味深く、熱心に説明や演奏を聴いて頂きました。博物館でチェンバロに出会った意外性と美しい音を聴けたこと、倒れたポプラから作られた事等に感動され、メモを取ったり、写真を取ったりして喜ばれました。

6月27日 千葉からの観光客3名他、10名程の方に対応、演奏を聴いて頂きました。「来て良かった。」と喜ばれました。

7月11日 韓国からの観光客5,6人と大阪からのご夫婦他の方々が質問されたり、演奏も最後まで熱心に聴いて下さいました。
7月10日から「藻類が人類の未来を救う」展が始まり「知の交流コーナー」にも62枚の精密画が展示されています。展示期間中は、「藻類」に因んだ曲も弾く予定ですが、今日から早速、「マリモの歌」と「海」を聴いて頂きました。



楽器説明・曲目解説 8/22

7月25日 東京から旅行中の〇井智子さん(ご自分で名乗って下さいました。)が、とても感激され「来てよかった。」「もう一度、ピアノを習う。」とのことで、お話しが弾みました。私に会えて良かったとまで言って頂き、有難いことでした。



コンサート「海」「マリモの歌」他 8/22

8月8日 夏休みで、「南極フロンティア展」も始まり、来館者の出入りも多くなっています。貴重な資料展示を拝見し、大変勉強になり有難く思います。今日も「マリモの歌」、「海」の曲もバッハの曲と共に弾いたり、歌ったりして聴いて頂きました。

8月22日 学校の夏休みも終わり、来館者数も少なくなっているようです。暑い日でしたが、リピーターの方が、「BACHを聴きたい」と待って居て下さり、他に10名以上の方が楽器説明や演奏を熱心に聴いて下さいました。展示スタッフの方と受付の方にお世話になりました。



楽器の説明 8/22

9月12日 「藻類」展示スタッフの北海学園大学生、栃木さんにお世話頂きました。函館の吉田さんは、子どもの頃の遊び場が北大構内、特にポプラ並木の辺りだったそうで、台風による倒木のことには心を痛めていらしたそうで、美しい音色に蘇ったチェンバロに出会えて、大変感激され喜ばれました。他に10名位の方に聴いて頂きました。



コンサート 9/12

9月26日 「藻類」の展示も終わり、今日は元来のルーム設定でのコンサートとなりました。期間中は、展示に合わせて「海」「マリモの歌」などをチェンバロで弾きながら歌ったり、一緒に口ずさんで下さる方も居て楽しい思い出となりました。

ロシアからのお客様とお連れの方々、名古屋の学生の方々、小樽のご夫婦など、15名以上の方にバッハの曲を5曲ほど聴いて頂き、楽器説明も熱心に聞き、みたり触ったり興味を持って頂きました。

10月10日 「日本におけるスキーと北大スキー部の100年」展が本日より始まりますので、「スキー部の歌」や「都ぞ弥生」を演奏に加えました。神戸大学の学生さんが4名、観光旅行中に立ち寄って下さり、芸術部で音楽もなさるそうで、チェンバロは初めてとのことで大変興味を持たれ、バッハのフーガを上手に弾いたり熱心に質問したり、良い思い出になったと喜ばれました。他に、東京からの旅行者など15名ほど。

10月24日 山形からの高校生が、詩のコンクールの為に来札中とのことでしたが、多数立ち寄って下さり、大変興味を持って熱心に聴いたり質問したり話が弾みました。他の方にも「介護で疲れて散歩がてらに寄って、思いがけずチェンバロでバッハの「アリア」や「コラール」を聴いて、すっかり癒されました。」と笑顔で言われ、それを見ていて下さった星野フサ様にも「良かったですね。」と言って頂きました。他15名程。

11月14日 一度是非ポプラ・チェンバロの音を聴いてみたいと思っていらしたとのことで、待っていて下さった方が3人程いらっしゃいました。大変喜ばれ、一緒に歌もうたって頂き、楽しいコンサートになりました。他に10名程の方に演奏や説明を聴いて頂きました。

11月28日 茨城の筑波大生と北大生、旅行中の茨城のご夫婦が熱心に聞いて下さり、ご主人がバッハの「メヌエット」を弾かれました。茨城の大学生とご夫婦は、偶然にもご近所にお住まいで、お会いしたことも有るとのことで、話が弾み、楽しいコンサートになりました。今日は、長竹さんがバリトンで参加、共演しました。

12月12日 久々に長竹さんと浜田さんが揃って出演、クリスマスが近いこともあり、「祈り」をテーマに宮沢賢治の「雨ニモマケズ」を三人で初演出来ました。他に、「コラール」「アベ・マリア」「ペチカ」等演奏し充実したコンサートとなりました。シンガポールや広島からの方々、50年前に北大で英語を教えておられた方等、雪降る中を聴いて頂きました。



来館者の方と、11.28



長竹さんと、12.12



浜田さん、12.12



北大スキー部100年展

演奏曲目 (ソロ、アンサンブル)

J. S. BACH... コラール、アリア、プレリュード他

「アベ・マリア」、「シチリエンヌ」、「鳥の歌」

「オンブラ・マイ・フウ」、「雨ニモマケズ」、「秋くさ」等



コンサート

9/12

ポプラチェンバロ・ボランティアコンサート 実施記録

石川恵子 担当

北海道大学総合博物館一階・知の交流コーナー

第二・第四水曜日 午後3時半～4時

2013年

1月9日・・佐賀県の修学旅行生と教員多数、新潟や道内の中標津からいらした方他多数の方々に聴いて頂きました。バッハの曲が特にチェンバロに合っていて、聴けて良かったと喜ばれました。

1月23日・中国からの旅行者7名程、江別からの方、市内の以前にも来て下さった方等が楽器説明や演奏を熱心に聴いて下さいました。特に市内の方は、バッハの「ゴールドベルグ変奏曲」を気に入られ、毎晩聴いておられるそうで感涙し又聴きに来たいと言って頂きました。

2月13日・・北海道が大好きで度々旅行しておられる大阪の大学講師の方が、バッハがお好きでとても喜ばれました。その他、4人の女性グループ他。受付の方が、冬場は来館者が少ないので、と気を遣ってお声掛けをして下さいました。

2月27日・・他の大学から北大3年に偏入された方、院生、女性グループ4名他の方々に聴いて頂き喜ばれました。今日は、チェンバロボランティア（ソプラノ・リコーダー）の中村会子さんがいらしたので、バッハの「コラール」2曲と「ペチカ」をチェンバロ伴奏で歌って頂きました。今後も共演をご希望なので、良く練習して一緒に演奏できれば何よりと思います。

3月4日（月）・・・ポプラチェンバロ製作者の横田誠三氏により、メンテナンス（4日午後・5日午前）
4日午後5時半～6時半・講話では9名の参加で、純正調の調律法等
数字の計算で音程比率を出す興味深いお話しをして下さいました。
7時半～の会食では、天野先生、阿部先生も参加されて和やかに、
楽しい有意義なお話しを伺うことが出来ました。



横田誠三氏 講話 3月4日(月)

3月13日（水）・・2人連れの婦人が、開始時間まで待っていて下さり、他にも
院生他数名の方に5曲程聴いて頂きました。「癒される」、「疲れが
取れる」と喜ばれ嬉しく思います。

3月27日・・・院生が二人、研究の合間の休憩に聴きにきて下さり、「落着く」、
「疲れがとれる」と言って頂くのは、少しでもお役に立てて嬉しく
思います。他に、カリフォルニアからのご婦人がバッハをお好きで
とても喜んでいただきました。



ボランティアコンサート（院生）

4月10日・・・開始時間まで随分待っていて下さったご婦人の方々、院生の方等に
聴いて頂きました。バッハの他、季節の曲「さくら、さくら」等も
お琴のようだと喜ばれました。

4月24日・・・16日から「すみれ展」も始まり、ストリーポックの「すみれ」の曲を開催中は毎回演奏
しますが、チェンバロ用に少し編曲して聴いて頂きました。ニュージーランドや広島か
らの方々、新入生、院生の方々にバッハ他、5曲程聴いて頂き喜ばれました。

5月8日・・・「北のすみれ展」にいらしたご婦人数名、いつも来て下さる院生と北大新入生の方々に
バッハの「コラール」「アリア」「プレリュード」等の他、リクエストにお応えして、
クレイダーマンの「ノスタルジー」も演奏し喜んでいただきました。

5月22日・・・韓国からの旅行者4,5名とご婦人の方々に『さくらさくら』、バッハの曲、数曲を聴いて
頂きました。説明には、来館者のご婦人の方が通訳して下さり有難いことでした。

6月12日・・・音楽関係の仕事をしておられる方がチェンバロを見に来られ、説明や、
演奏曲、奏法にも質問され熱心に聴いてくださり、「音が聴けるとは
思わなかった。」と喜ばれました。他にも旅行者の方々、散歩で立ち寄
られた方々に聴いて頂き喜んで頂きました。

6月26日・・・台湾からの観光客10名程と、名古屋からの旅行者2名、市内のご夫婦、
院生、学生ほか20名程の方々に演奏や説明を聞いて頂きました。
台湾の方はバッハもお好きなようでしたので、「幻想曲とフーガ」
ト短調と一緒に連弾で弾いて頂き、思い出になったと喜ばれました。
名古屋からのお二人は、わざわざボプラチェンバロを見るため
いらして下さったそうで、思いがけず美しい音を聴けて良かった
と大変喜ばれましたので、お役に立てて嬉しく思いました。



コンサート風景 6/26

7月10日・・・東京からの旅行者2名、北大の卒業生で久々に訪ねてこられた方
他、色々と質問され説明や演奏も熱心に聞いて下さいました。
また来たいと言っていました。

7月24日・・・19日（金）より「巨大ワニと恐竜の世界」（夏期企画展）が始まり、
沢山の子供たちと引率の方々が大勢いらしていましたが、コンサート
開始寸前に火災警報が鳴り、大音響に怖がって泣く子や帰りたいと
いう子もいて、「速やかに館外に出て下さい。」というような放送も
あり、一斉に潮が引くように人がいなくなっていました。



台湾から来館者と連弾 6/26

直ぐに誤報と分かり何事もなく安心しました。コンサートは無理か
と思いつつも演奏していましたが、直ぐに台湾や東京からの旅行者
の方々他10名程集まって下さり、特に東京に帰る前にチェンバロに
出会えて良い思い出になったと東京のご一家に喜ばれました。



名古屋からチェンバロを見に来て
下さいました。 6/26

8月28日・・・京都からご旅行のご夫婦が、チェンバロの音を聴きたいと2時間
も待っていて下さり恐縮しました。他にも、中国からの旅行者の方々
等10名程の方々に説明や演奏を聴いて頂き、喜んでいただきました。

演奏曲目・・・J. S. BACH 作曲 「アリア」「コラール」「プレリュード」「フーガ」等

9月11日・・・散歩途中のご夫妻、台湾からの旅行者他15名位の方々に聴いて頂きました。
台湾からいらした方の中に、ピアノを上手に弾く方がいらしたので、バッハの「幻想曲とフーガ」を連弾し喜んでいただき、楽しいコンサートになりました。



9月25日・・・東京から旅行中のご家族4人（中、高生のお嬢さん）が特に興味を持たれ、弾いてみたりカメラに収めたり楽しそうでした。ボランティアの方々や、いつも来て下さる院生の方等、10名程の方々に聴いていただきました。

「タイからワニがやってきた！」展
11/26 ~ 12/27 知の総合コーナー

10月9日・・・今日は、第二、第四水曜日のボランティアコンサートを担当させて頂いて以来、100回目になります。地道に続けてきましたが、積み重ねが大事だと思いますし、嬉しいことです。コンサートでは、以前一緒していたソプラノの大宮司幸枝さんがお祝いに駆けつけて下さり、バッハの「コラール」を歌って頂きました。又100回を記念して「チェンバロのためのノクチュルヌ」（堀井灰徳作曲）を初演させて頂きましたが、いつもボランティアでお世話になっている星野さまも来て下さり、「お琴のようで二通り楽しめる」と言って頂き、とても良い曲です。これから演奏したいと思います。



今年最後のコンサート 12/25
大宮司幸枝さんと 賛美歌と
「おしとよ」 「おしとよ」
他

10月23日・・・キャンパスの紅葉も見頃となり、沢山の方が来て下さいました。左手が腱鞘炎のため、演奏は出来なくても楽器説明などボランティアは出来るだろうと思って伺いましたが、20名程の方が座ってチェンバロの音を聴くために待っていて下さるので、結局、四曲演奏することとなりました。
ホームページで調べて、目当てにいらした方もいてピアノとの比較等興味深い様子でした。堀井氏作曲「チェンバロのためのノクチュルヌ」が好評でした。



BACHの「コラール」等演奏
12/25

11月13日・・・「知の交流コーナー」にて、11月1日～24日まで「白夜の北極・グリーンランド展」が開催されています。テレビでも放映され、そのビデオも紹介されていますので、その兼ね合いを見ながらのコンサートになりましたが、共用の場でのコンサートですので致し方ないことと思います。



東京から来館者に対する
12/25

12月11日・・・奈良からの旅行者の方々や、いつも来て下さる方等に5曲聴いて頂きました。
冬期間は、例年ながら低温、乾燥により温度湿度の管理が難しくなっています。
事務の成田さんが、楽器内にダンピットと加湿剤を用意して下さいました。

12月25日・・・11月26日から12月27日まで、「タイからワニがやってきた！」展が開催中。
今年最後となるコンサートがクリスマスの日になりましたので、大宮司幸恵さん（ソプラノ・客演）と共演、賛美歌を3曲、バッハのコラール等を演奏しました。
チェンバロの側にツリーも飾られ、クリスマス気分を味わって頂けたと思います。
来年も来館者の方々に、美しいチェンバロの音色を聴いて頂きたいと思います。



年末年始はチェンバロに
カバーを掛けて保護
12/27 肉館 ~ 1/5 肉館 2/27

2014年

2月12日・・礼文島からの旅行者5名と学生2名他の方々に楽器説明や演奏を聴いて頂きました。中にはバッハの好きな方もいらして、フーガやインベンション等を試奏したり、ポロネーズを上手に弾いてくれた方もいて、楽しいコンサートになりました。



館長より表彰状を戴く 3/17

2月26日・・東京からの旅行者数名、散歩中のご夫婦、いつも来て下さる方等にバッハのコラール数曲、「さくらさくら」等を大宮司さん（客演）との共演で聴いて頂きました。中国からの留学生がいらして、クラシック音楽のを知りたいので、又来たいとのことでした。



小出先生来訪 3/26

3月12日は、後期試験のため閉館でコンサートはお休みでした。

17日には、5年を越えるボランティア活動に対し、博物館より表彰状を戴きました。有難く感謝申し上げます。

3月26日・・ポプラチェンバロ製作の当初からご存じの小出重幸氏が来館なされ、チェンバロを弾かれたり、色々なお話の後、演奏を聴いて頂きました。学生の方にもバッハのポロネーズやメヌエットを弾いて頂きました。



「イザベラ・バード展」でイギリスの曲を弾く 4/23

4月9日・・ハーモニカで施設訪問されている小樽の方、いつも来て下さる院生他、留学生の方々（バングラデシュ、パキスタン、ミャンマー等）が、熱心に聴いてくださり、国際色豊かなコンサートになりました。



ポプラチェンバロ（報告説明） 5/14

4月23日・・今回は、予定を早めにボードに書いて下さった方がいて、既に20名程の方が待っていて下さいました。「イザベラ・バード写真展」に合わせて、イギリスの曲「ロンドンデリーの歌」他、バッハの「コラール」「アリア」、「さくらさくら」等、大宮司さんの共演で聴いて頂きました。



ソロでバッハの「アリア」を弾く 3/6

5月14日・・散歩にも良い季節になり、お友達を誘って来て下さった方、ご夫婦、見学の高校生、スイスからの来館者と15名以上の方々に聴いて頂きました。大宮司さんとの共演で「この道」、「花は咲く」は皆さんも一緒に歌って下さり、和やかなコンサートになりました。楽器解説のほか、ソロは「コラール」、「さくらさくら」、堀井友徳作曲「チェンバロのためのノクチュルヌ」（初演の認定を受けています）を演奏しました。

コンサート前に、小俣先生がいらして下さいました。先生には当初より担当教官として、大変世話になりました。当初、先生の決めて下さったコンサートの日程を守って、5年半ボランティアを続けていること、皆楽器の維持管理に努めていることを報告し、喜んでいただきました。



大宮司孝政(Sop.客演)と 5/14

5月28日・・北大キャンパスも新緑の良い季節になり、天候も良く散歩がてらの方、何時も来て下さる方々等多勢の方(18名程)に聴いて頂きました。客演の大宮司さん(Sop.)とBACHのコラール、「花は咲く」他、学生が「ポロネーズ」「メヌエット」を飛び入りで弾いてくれました。又長く練習してきたBACHのアリア「Erbarme dich, mein Gott」(主よ、憐れみたまえ)と「チェンバロのためのノクチュルヌ」(堀井友徳作曲)を演奏し、アンコールの声も頂きながら閉館時間となりお応え出来ませんでしたが、嬉しい事でした。

6月11日・・雨の降る中、20名程の来館者の方々との楽しい時間を共有することが出来ました。兵庫からいらした方、留学生(タイ、香港等)、いつも来て下さる方々や学生、院生のほか、小樽から以前いらした方が、今回はハーモニカを持って来て下さり、何曲か演奏して頂きました。とてもお上手で、皆様にも喜ばれました。楽器説明のほか、「この道」(山田耕作)、「アリア」、「プレリュード」(バッハ)等を聴いて頂きました。

6月25日・・お天気も良く、爽やかな緑のキャンパスでのコンサートとなりました。同期会や小学生の見学等、多くの来館者でにぎわっていました。今日は、BACHの「ゴルトベルク変奏曲」のレクチャーコンサートをさせて頂き、時間的に抜粋で10曲程演奏しました。この曲を愛聴している方に、「生で聴けて貴重だ」と言われ、労をねぎらっても頂き有難く思いました。

7月9日・・今日のコンサートには、大勢の中国からの来館者の方々に、楽器説明や演奏を聴いて頂きました。ご家族連れも多く、10歳の男の子と若い女性の方が、ピアノを習っているようで、バッハの曲を上手に弾いてくれました。良い記念になったと喜ばれました。

7月23日・・11日から企画室で「学船 洋上のキャンパス おしよろ丸展」が開催されています。今日は、藤田良治先生とご家族の方がみえましたので、「水産放浪歌」のお話しをして頂き、その後演奏を聴いて頂きました。これからは期間中は、チェンバロと出来れば歌も入れて、演奏したいと思います。他にバッハの「コラール」、「ゴールドベルク変奏曲」より5曲、堀井友徳作曲「チェンバロのためのノクチュルヌ」を聴いて頂きました。千葉県からいらした方々、いつも来て下さる方々等、多くの方に感激したと言って頂き大変有難く嬉しく思いました。



ボランティア風景
楽器説明(音色の違い等)をしている
5/14



大宮司枝さん(Sop.客演)と
バッハの「コラール」「アリア」等を演奏。
5/28



スズ・ルツェルンから帰省中の
来館者とツェンバロを演奏中
5/14

8月27日・東京からの家族、愛知からの旅行者他、ツアーの方々等15名位の来館者に、対応しました。

東京からの小学生は、ピアノとタッチが違って弾きたいのに弾けないと困っていました。

愛知からの若い女性は、かなり音楽に詳しい様子で、来て良かったと言っていました。

客演の大宮司幸恵さんと「秋くさ」「コラール」「フランスの子供の歌」等5曲演奏しました。

9月10日・東京から6名の方々、兵庫からの方、香港、珍しくキルギスからいらした方もいて、毎回国際色豊かで楽しくボランティアのし甲斐があります。小樽からハーモニカを持参で来て下さる方が、「里の秋」等2曲演奏して下さいましたが、三度目の来訪です。兵庫からの方は、寮歌がお好きとの事で、「水産放浪歌」を、他5曲を15名の方々に聴いて頂きました。

9月22日・筑波からのご家族、横浜からの方他、いつも来て下さる方々等、15名位の方に説明、演奏を聴いて頂き喜んでいただきました。客演の大宮司さんと、バッハのアリア「Erbarme dich mein Gott」(主よ、憐れみたまえ)、「コラール」「アリア」の他、日本歌曲やお琴の雰囲気「チェンバロのためのノクチュルヌ」等、様々なチェンバロの音色を楽しんで頂きました。

10月8日・文学部の学生2名、院生ほか、いつも来て下さる方々や散歩がてらの方々に楽器説明や演奏を聴いて頂きました。文学部の方は、邦楽研究会でお琴と尺八をなさっておられるそうで、お琴風のチェンバロの曲を演奏して喜んで頂きました。他、バッハ等5曲演奏。

10月22日・キャンパスの美しい紅葉を目当ての来館者も多くなり、25名程の方々に聴いて頂きました。客演の大宮司さんとバッハの「コラール」「アリア」「埴生の宿」等を演奏しました。

韓国からも10名余りの来館者が見えて、チェンバロの由来をお話しし音が聴けて良かったと喜んで頂きました。

11月12日・ペルーからの留学生が博物館の展示物の中からチェンバロを選択して調べ、レポートを提出するとのことで、熱心に楽器説明や演奏を聴いて頂きました。工学部の学生の方が、PCで作曲もするそうで、最後まで残って質問し興味を持って下さいました。他にも、いつも来て下さる方、院生の方等10名位の方に聴いて頂きました。

11月26日・愛知からいらしたご夫妻が大変興味を持たれ、待っていて下さいました。「北大博物館は評判が良いので来ました。」と言って頂き嬉しいことでした。いつも来て下さる方々とも一緒にお話しが弾み、熱心に説明や演奏を聴いて頂き、楽しいコンサートになりました。

15名位の方に、バッハの「ゴルトベルク変奏曲」から抜粋で聴いて頂きました。



コンサートで バッハの曲等も演奏 9/24



楽器説明の様子 9/24



来館者の方と 9/27

- ・12月7日～10日・・・ポプラチェンバロ製作者の横田誠三氏が来札、メンテナンスと講演、交流会があり、参加させて頂きました。平素の楽器の維持管理の成果か、楽器の状態が思ったより良いとの評価を頂き、今後とも皆で気を配っていきたいと思います。
- ・12月10日・・・ミニコンサートに横田誠三氏も来て下さり、楽器についてのお話しをして頂き、来館者の方々には、製作者に直接お会いしてお話しが聞けたことを喜んで頂きました。
横田氏の要望により、BACHの「アリア」「コラール」等を聴いて頂きました。
ポプラの倒木から蘇った美しい音色のチェンバロを皆様に聴いて頂き、喜んで頂けることをいつも感謝してボランティアしていることをお伝えしました。
- ・12月24日・・・今年最後のミニコンサートは、Xmasコンサートとして楽しんで頂きました。長竹新さんの歌でBACHの「コラール」2曲、讃美歌「もろびとこぞりて」、「きよしこの夜」他ソロを演奏。中国、台湾、東京等からの旅行者の方々や、いつも来て下さる方々に喜ばれました。楽器の側に、事務の方がXmasツリーを飾って下さり、良い雰囲気の中でのコンサートになり有難いことと感謝しています。
- ・12月26日・・・博物館教職員とボランティアの忘年会が「知の交流コーナー」であり、大原先生からの演奏のお誘いもあり、長竹新さんと24日のコンサートの曲を4曲簡単な解説を交え、演奏しました。又このような機会を与えて頂ければ、演奏させて頂きたいと思います。



「ポプラチェンバロ 木魂の音色」の木製看板の裏書かれた 田中芳雄さんと、右は新橋さん 12/7



今年最後のミニコンサートは Xmasコンサート
BACH「アリア」「コラール」を演奏 12/4



長竹新さんの歌で BACH「コラール」
讃美歌「もろびとこぞりて」「清き夜」 12/4



台湾(左)、中国(中央)の来館者と、
右は長竹新さん(歌で共演) 12/4



博物館忘年会で BACH「コラール」を演奏 12/6



博物館忘年会で「コラール」讃美歌を演奏 12/6
右は 歌で共演の長竹新さん

2015 年 1 月 14 日・・新年を迎え、初めてのコンサートになります。寒い中をいつも来て下さる方々のほかに 8 名の来館者の方々に対応し、バッハの曲を聴いて頂きました。
例年、博物館が閉館となる年末年始の楽器の維持管理には随分気を遣ってきましたが、今年の状態は良いようで安心しました。

1 月 28 日・・今日のコンサートには、いつも来て下さる方々のほか、外国からの来館者等 8 名位の方々に対応し演奏を聴いて頂きました。耐震工事が始まり、建物にもカバーが掛けられており、寒いなかを思いの外多くの方が来館して下さい有り難いことと思います。

2 月 11 日・・今日は、祝日で雪祭り中でもあり、沖縄や大阪からの観光客の方々もお寄り下さり、いつも来て下さる方々の他 15 名位の多くの方に対応、楽器説明や演奏を 10 曲程聴いて頂きました。チェンバロは初めてという方も多くいらっしゃいました。

2 月 25 日・・入試のため閉館（コンサートはお休み）

3 月 11 日・・今日は、雪で足元の悪い中をいつも来て下さる方々他 15 名位の方に、楽器説明や演奏を聴いて頂きました。今春卒業し就職される院生と友人も来て下さいました。
時々来て下さる小樽の方は、ハーモニカ持参で「宗谷岬」「マッサン」を演奏して下さいました。野村さおりさんにペダル部分を連弾して頂き、バッハのオルガン曲「フーガト短調」を演奏することが出来ました。他に 3 曲演奏しました。

3 月 25 日・・4 月から博物館が閉館となるため、今日が最後のコンサートとなります。
その所為か 20 名余りの方にお出で頂き、「最後と聞いてチェンバロがどうなるのか心配できました。」と言って下さる方もおられました。いつも来て下さる方々の他、卒業就職する院生や友人、カザフスタンやモンゴルの留学生等に、野村さんと共演でバッハのオルガン曲の他、松田さんにガンバの説明と音もお聞かせ頂きました。
ソロで、バッハの「ゴルトベルク変奏曲」から 5 曲静かに聴いて頂き、思い出に残る良いコンサートになりました。



小樽からの来館者の方がハーモニカ持参で「宗谷岬」「マッサン」演奏して下さいました。3/11



BACHの「ゴルトベルク変奏曲」より 5 曲演奏しました。(石川恵子)



ファイナルコンサートに 20 余名の来館者。松田祥子さんにヴィオラ・ダガンバの聖歌説明と音も聴いて頂きました。3/25